

平成 28年度第二回健康食品管理士会東北支部会研修会  
市民公開講座のお知らせ

参加費は無料です。皆様お誘い合わせ、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

日時：平成 28年11月27日 13時30分～16時30分

場所：東北福祉大学 仙台駅東ロキャンパス 6F 61教室(旧代々木ゼミナール)  
宮城県仙台市仙台市宮城野区榴岡 2-5-26

東北福祉大学 [http://www.tfu.ac.jp/news/20150401\\_01.html](http://www.tfu.ac.jp/news/20150401_01.html)

内容：

13時00分 受付

13時30分 開会の挨拶 東北支部長 杉澤 淳

13時35分 陰山 信二先生 (かげやま しんじ)

株式会社 LSI メディエンス 高度技術 ADL ラボラトリー

「ドーピング検査の概要と最近の動向について」

講演 「2007年にスポーツドーピングの防止に関する国際規約ユネスコ条約が施行され、世界アンチ・ドーピング機構(World Anti-Doping Agency: WADA)を中心とするドーピング防止活動が展開されてきた。インターネットの普及等により、ドーピング禁止物質を誰もが容易に入手できることが、現在の状況を生んでいると考えられるが、ドーピングの多様化は著しい。今回は、「ドーピング検査の概要と最近の動向について」としてドーピングに対する分析体制の進歩、我々の取り組み及び最新の話題について紹介する。」

14時35分 質疑応答

14時40分 休憩

14時50分 宮城県医師会・佐々木整形外科・麻酔科クリニック院長 佐々木 信行先生

「防ごう！ロコモ のばそう！健康寿命」

講演 「2000年に介護保険制度が始まって以来、要介護認定者が年々増え続けており、現在は564万人を超えている。その原因として最も多いのは転倒や骨折などの運動器の障害で、25%を占めている。運動器は立って歩いて行動するために重要で、体を支えるための骨、動かすための筋肉や靭帯、多様な動きを可能にする関節や椎間板、そしてこれらをコントロールする脳神経系から成り立っている。しかし加齢とともに変化し、様々な障害が生じるため、ロコモの予防が重要である。今回は、ロコモの定義、その予防のための運動、食事について説明する。」

15時50分 質疑応答

16時00分 閉会の挨拶

主催 健康食品管理士会東北支部会